



## ～戦後国内最初の労働運動の様子～

人民裁判は、1946（昭和21）年2月、賃上げなど労働条件の向上を求める三菱美唄炭鉱労働組合員らが、市内宮ノ下会館などで合計36時間に渡り追求した「大衆団交」でした。絵は、同炭鉱美術サークルの鉱員5人が「裁判」から3年後に完成させました。

戦後国内最初の労働運動の象徴的な事件として知られておりますが、争議解決から2週間後、会社側が告訴し、刑事事件に発展し、労働組合側の幹部らが不法監禁などで逮捕され、有罪判決を受ける者も出るなどの結果に終わりました。

公開状況

非公開

問い合わせ

美唄市経済部観光振興課  
電話：0126-63-0112 E-mail：kouryu@city.bibai.lg.jp

URL

<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/jyumin/docs/2019052000027/>